

事業所名		ちゃいるどらんどさぼーとくらぶ				支援プログラム(放課後等デイサービス)		作成日	2025 年	1 月	20 日
法人(事業所) 理念		療育の質を高め、療育を必要とするこどもとご家族の立場に立って安心・安全・安定した療育を提供する。 そのことにより地域に本当に求められる施設、地域になくてはならない存在として地域から愛され、地域社会に貢献できる施設を目指す。									
支援方針		・様々な経験を通して、社会性の芽生えを育みます ・個性や発達段階を的確に捉え、自分らしさを発揮できるようお手伝いします ・日常生活動作を身につけ、自主自立を育みます ・保護者の方と信頼関係を築き、お子さまの成長を共に見守ります									
営業時間		9 時 0 分から 17 時 0 分まで				送迎実施の有無		あり なし			
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出すことを支援します。 ・睡眠、食事、排泄等の生活習慣を形成し、基本的な生活リズムを身につけられるよう支援します。 ・基本的な生活スキルを獲得していけるよう、障害の特性に配慮し、本人にわかりやすい環境を整えていきます。 ・本人の意向を受け止めながら、自分の生活をマネジメントしていけるよう、自分で組み立ててできる行動を増やしていけるよう支援していきます。									
	運動・感覚	・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の基本的技能の向上を支援します。 ・障害の特性や発達段階、興味関心に応じて、様々な感覚を活用していけるよう、あそびを通して支援していきます。 ・感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行います。									
	認知・行動	・一人ひとりの認知の特性を理解し、情報を適切に処理していけるよう環境調整や関わり方を考え、支援していきます。 ・日常生活やあそびを通して、数や大きさ、時間、色などの概念の理解を促していきます。 ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害に対し、環境調整や予防策を講じ適切な行動の獲得に向け支援を行います。									
	言語 コミュニケーション	・ことばだけでなく、身振り、指さし、サイン、ジェスチャー等一人ひとり合わせた方法でコミュニケーションの基礎的能力向上のための支援を行います。 ・大人や友だちとのやりとりを経験するなかで、自発的な発声や発語を促し、事物や体験と言葉の意味が結びつき、場面や相手の状況に応じたコミュニケーションが行えるよう支援していきます。 ・障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行います。									
	人間関係 社会性	・関わる大人が、安心の基地となり、信頼関係を築くことで、周囲の環境や人への安心感や信頼感を育み、愛着の形成を図ります。 ・大人や友だちとのあそびを通して、社会性や対人関係の芽生えを促していきます。 ・子どもの発達段階や特性に応じた環境調整や関わり方を提案していくなかで、自分のできることや苦手なことに気づくとともに、気持ちをコントロールできる方法を見つけ、子ども自らが自発的に集団活動に参加していけるよう支援していきます。 ・他者の気持ちや意図を理解し他者からの働き掛けを受け止め、それに応ずることや場に応じた適切な行動ができるように支援していきます。 ・あそびや集団活動に参加できるよう支援し、共に活動することを通して、相互理解や互いの存在を認め合いながら仲間づくりにつながるよう支援します。									
家族支援		・子ども本人や家庭の状況を踏まえながら、常に情報共有を行い、必要に応じて相談や支援を行います。 ・家族に対する支援場面を通じた学びの機会や保護者同士の交流の機会を提供します。				移行支援		学校、他事業所などの関係機関との情報共有や連絡調整、就学先についての相談援助や準備支援を行います。			
地域支援・地域連携		・アーチル、行政機関、医療機関等との連携 ・学校等教育機関との連携 ・自立支援協議会等への参加 ・児童発達支援事業所、放課後等デイサービスとの連携 ・子育て支援、こども食堂による地域との連携				職員の質の向上		・職場内研修の実施 ・外部研修への職員派遣 ・利用者による自己評価の実施			
主な行事等		季節行事、誕生会、外出体験、外食体験、買い物体験、調理体験等									